

= 受賞 =

細矢良雄教授、電子情報通信学会よりフェロー称号を贈呈さる

(電気電子工学科)

電気電子工学科の細矢良雄教授は、本年9月に新潟大学で行われた電子情報通信学会通信ソサイエティ大会において、「無線通信における伝搬特性推定法の研究開発とその国際標準化」の功績により、電子情報通信学会からフェロー称号を贈呈されました。

電子情報通信学会では、工学的・科学的先駆者、学会活動推進者、技術開発指導者、あるいは教育者として、特に貢献が顕著であると認められた会員に対してフェローの称号を贈呈しております。

細矢教授は、各種無線通信システム設計に必要な伝搬特性推定法の開発に永年従事し、その研究成果は我が国の無線通信回線設計に実際に広く利用されております。また、この分野の研究の発展にも努力され、IEEE Antennas and Propagation Society, Tokyo Chapter, Chairman に選出されたほか、我が国の電波伝搬分野の研究成果を編集委員会委員長としてまとめた「電波伝搬ハンドブック」を出版されました。

さらに、その研究成果を国際的なシステム設計

にも応用するため、国際電気通信連合 (ITU) 国際無線通信諮問委員会 (CCIR) に日本代表として 1976 年から 1993 年の期間参加し、日本で開発された伝搬特性推定法の ITU-R 勧告としての採択に尽力されました。また 1986 年から 1993 年には同委員会の第五研究委員会副議長に選出され、国際的な標準化活動の中心としても活躍されました。現在は、この分野に対する日本からの寄与文書を審議する、総務省情報通信審議会 ITU-R 部会電波伝搬委員会主査として、その取り纏めの責任者をされておられます。また、国際電波科学連合 (URSI) の我が国の対応機関である、日本学術会議電波科学研究連絡委員会の主管幹事 (1995 ~ 2003) として、電波伝搬の科学面からの取り纏めにも尽力されました。

これらの、我が国の無線回線設計に実際に使用されている伝搬特性推定法の研究開発および国際標準化への貢献が評価され、今回の称号贈呈に至ったものです。